



スタディサプリ

週1回、授業で中学の苦手克服。 自学習習慣が付き、高1で基礎学力がUP!

共栄学園高校 (東京・私立)

取材・文／丸山佳子



右から
進路指導部部長 数学科
杉山晴彦先生
教務・1学年主任
佐久間賢一先生

School Data

創立1938年 / 普通科
生徒数1048人 (男子499人、女子549人)
進路状況 (2105年度) 大学進学247人、短大進学12人、
専各進学50人、海外大学進学1人、就職5人、その他39人
東京都葛飾区お花茶屋2-6-1
TEL 03-3601-7136
URL <http://www.kyoei-g.ed.jp/>

〓到達度テスト〓で、中学課程の 抜け漏れ克服が可能に

2003年に女子校から男女共学となった共栄学園高校は、「特進」進学コースを有し、バレーボールでインターハイ優勝や全日本選手を輩出するなどの実績をもつ文武両道校。近年では難関国公立・私大を目指す「特進コース」が実績を大きく伸ばし、次なる目標として「進学コース」の実績向上に取り組んでいる。

同校の「進学コース」は、勉強と部活動を両立させている生徒がほとんど。偏差値に幅もあるが、例年課題となるのが、高校1年次の夏休み後から顕著になる成績中下位層の伸び悩みだ。

「原因は中学課程の抜け漏れです。それを高校の授業でフォローするのは難しい。かといって、中学生用の問題集を与えても生徒たちはブライドがあるのでやらない。どうすれば高校1年のうちに中学の英数国を総復習できるのか。それを考えた結果、この4月から1年生に導入したのが、『スタディサプリ』です。到達度テストを使い、生徒各自の中学課程の苦手分野を、細かい単元ごとに把握できることが大きな魅力でした」と進路指導部長の杉山晴彦先生は言う。

「苦手な単元の克服は、予備校講師による、講義動画を視聴することで可能になるが、「やる気をもって生徒に取り組ませるには、ある程度の強制力が必要」と杉山先生。そこで同校では、週1回、授業の時間の中に「スタディサプリ」の時

間を組み込み、自学の習慣づくりをサポートしてきた。

学習意欲と学習時間が伸び、 わずか5カ月で、大きな成果が

「授業では、最初に、講義動画へのアクセス方法などを説明し、その後は中学課程の苦手克服や試験前の予習に『スタディサプリ』を活用してきました。馴れてきた今では、ハイレベルコースの動画を視聴したり、英検対策をするなど、生徒たちは自由に勉強を行っています。勉強が楽しくなったという声も多いですね」と、1学年主任の佐久間賢一先生。

また、数学Aを教えている杉山先生は、「講義動画」に付随した「テキスト」を活用して問題集を作成し、定期考査前や夏休みの宿題にするなど、生徒に勉強をさせる活用方法も実践してきた。

「『スタディサプリ』には、学習管理システムがあり、生徒たちがきちんと動画を見て学習しているかが、パソコン上で瞬時にわかります。『がんばってるな』とか、『もう少し動画を見ておけよ』と生徒への声掛けが多くなったことも、学習意欲向上に関係しているのかもしれない。今年の『進学コース』1年生は、学習時間が4月から伸びている。これは、今までにないことです」

その結果、9月に実施した英数国の学力テストでは中下位層が成績を伸ばし、課題だった基礎学力の底上げを図ることができたという。「スタディサプリ」導入での、大きな成果である。

5カ月の継続学習で 基礎学力の底上げにつながった!



2016年4月に実施した英数国の学力テストでは、成績下位層が121人であったのに対し、9月の学力テストでは、88人に減少。逆に成績上位層が大きく伸び、学年全体の底上げにつながった。(グラフは2016年4月と9月に実施した学力テストの成績比較)

苦手克服のために、視聴すべき中学課程の「講義動画」を特定。学校の授業や自宅で学習を進める。



左は、「テキスト」を活用して杉山先生が作成した定期考査前と夏休みの宿題。表紙には「宿題をきちんとやったかの判断は、このテキストの提出と、スタディサプリ上のシステムの両方でチェックします」と書かれている。自習ではやらない生徒も、宿題なら提出するという。

4月、「到達度テスト」を「進学コース」1年に実施。生徒各自が中学課程の弱点を把握。



「スタディサプリ」を使った授業は、週1回、パソコンルームで。講義動画の内容がわからないときは、先生がフォロー。

「家でも空いた時間にスマホで勉強できるので、楽しいです」(平野乃莉さん／右)「苦手な数学も克服できるとわかり、一番勉強するようになりました」(苗田玲奈さん／中央)、「英語が好きなので、講義動画で予習中心に勉強しています。先生も面白くてわかりやすいです」(依田有沙さん／左)

